

切診：胃経緊張（R<L）圧痛、左太溪軟弱、左懸鐘圧痛

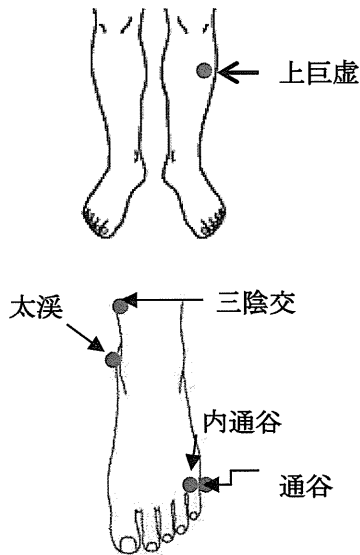
便通：少し。以前のように4日に1度ではなくもっと間隔が短くなってきた。

右下肢外側後面痛VAS：15mm→治療後15mm

左下肢外側後面痛VAS：25mm→治療後18mm

痺れVAS：58mm→治療後56mm

治療部位：〈毫鍼〉左上巨虚、左三陰交、左内通谷、〈鍍鍼〉左太溪、〈円皮鍼〉左内通谷、左通谷



11診目

- カルテ

8時、「嘔気はずいぶん楽になりました。寝返りしたらちよつと痛いけど、痛みもそんなにありません」

20時、「簡易トイレに便が出ました」卵大～普通便。

レスキュー使用量3回

- 鍼灸

「さっき、トイレに行くのに、動いたので痛みが出た」

脈診：虚、洪、舌診：紅、舌尖紅、舌下静脈怒張。

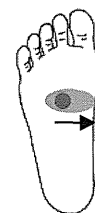
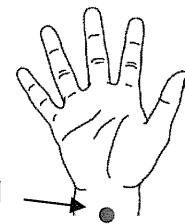
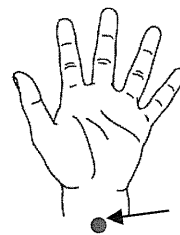
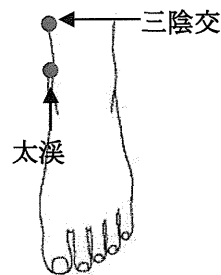
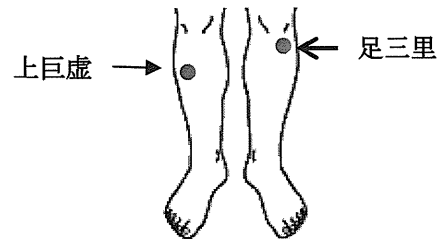
右下肢外側後面痛VAS：10mm→治療後8mm（右は動かしてもこれくらいの痛み）

左下肢外側後面痛

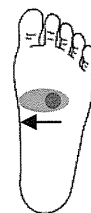
VAS：動作時66mm→治療後48mm、安静時20mm→8mm

しびれVAS：75mm→治療後57mm

治療部位：〈毫鍼〉左足三里、右上巨虚、左三陰交、左太衝、〈鍍鍼〉湧泉～公孫、〈円皮鍼〉内関、右外関



湧泉



【転帰】

鍼灸治療介入全11回。

11診+1日後に退院。自宅での生活となる。

【まとめ】

医療スタッフによる、最終印象として

①痛みに対して

劇的に聞いたという感じではない。

効果が今ひとつわかりにくかった。

なんとなく効いているのかな？

②腸蠕動促進に対して

腸が動いているのも鍼なのか薬なのかかわからない。

③総合

中止する事がなかったのは、嫌なことは嫌と言える性格であることから効果を期待されていたのではないのでしょうか。

といった、評価を得られた。

本研究では鍼単独といったわけではなく、通常治療に鍼灸を併用することによっての効果をみるためのものであったため、併用することによって右下肢外側痛は改善傾向であった。また、興味深かったのは、7診時の放射線療法直後の痛みが普段 NRS : 3 程度あったものが、一時的とはいえ 0 となっている。

それまでと異なる点と言えば治療介入するタイミングが放射線療法より早かっただけであり、介入タイミングで何か変わる可能性があるのかもしれない。

また、鍼治療介入前後では目に見えた変化は認められなかったが、11診目右下肢外側後面痛 VAS : 10mm→治療後 8mm (右は動かしてもこれくらいの痛み) と、放射線療法、服薬により右下肢の痛みコントロールは良好といえる。右だけではなく、左下肢外側後面痛 VAS : 動作時 66mm→治療後 48mm、安静時 20mm→8mm、しびれ VAS : 75mm→

治療後 57mm と治療前後で初期と比較して大きな軽減が認められるようになった。

癌状態の進行が速いため、病態が重症になるほど、治療回数が求められるとも考える。

本症例から、癌細胞は神経に浸潤しており、また通常の腎癌の組織型以外に肉腫の成分もあり、分子標的治療が効きにくく、進行が速いものであった。進行が数年かけて変わるのではなく、半年もかからずに歩行困難となった。そのため、少しでも良くなるものなら取り入れたいという気持ちもあり、その反面、期待がつよく、数回で効果があるはず。といった気持ちであったのではないかと感じた。そのため、十分に患者に説明し、接していく必要があると考える。

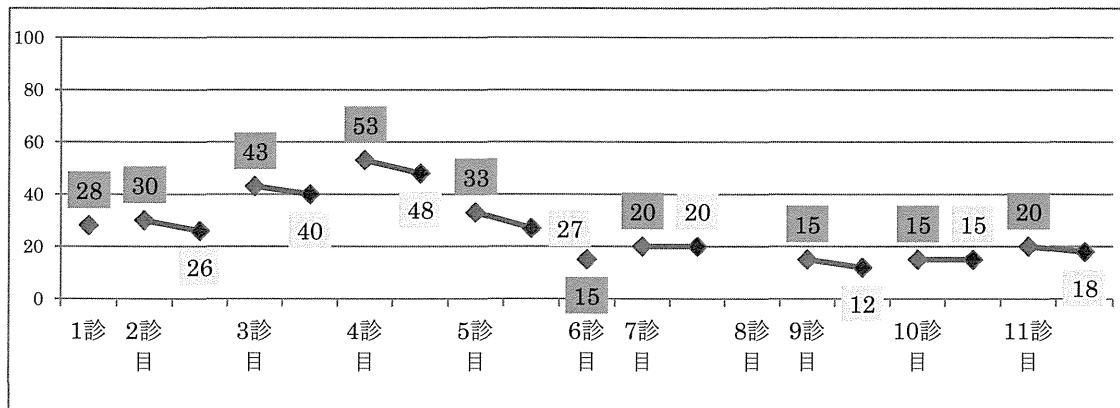


図 2. 右大腿外側部痛 VAS 評価による経過

トイレ時にレスキューを使用していたが、便座に座る際に痛みが起り、暫く痛みが続いていた。しかし、治療介入し始めてから、動作後の痛みの継続時間が短くなり、じっとしている事で痛みがすぐに緩和される状態となった。

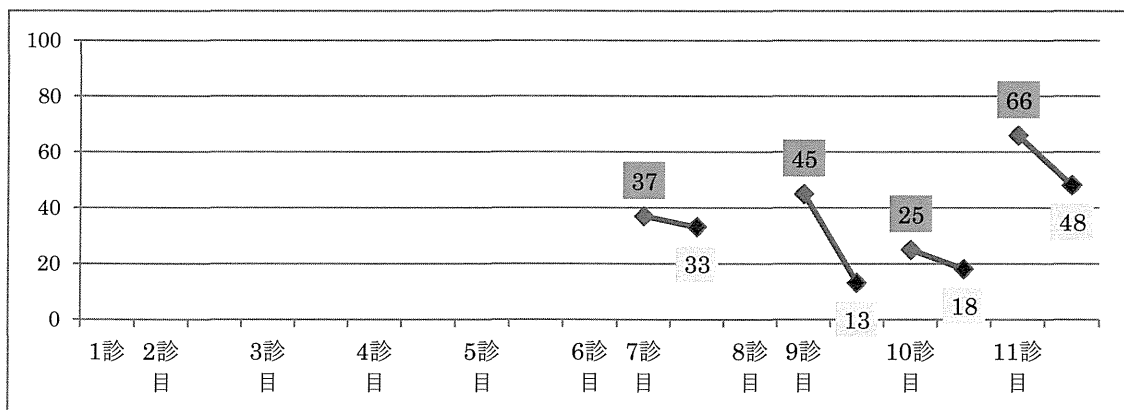


図 3. 左大腿外側部痛 VAS 評価による経過

6診目までは、左側より右側の痛みが強かったため、訴えられなかったが、7診目より徐々に痛みが増してきた。9診目の安静時 45mm→安静時 13mm、動作時 43mm である。安静時痛が軽減した理由にはレスキューを使用した直後に鍼灸治療を行い、相乗効果があったのではないかと考える。

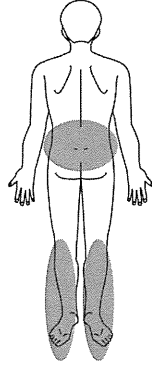
【症例】86歳、男性

【傷病名】「膀胱癌」（左尿管癌、L3転移）

【治療目的】「下腿浮腫」「腰部痛」

経口摂取できず、低栄養状態に加え、痛みのため動かないなど、多くの要因がある。

腰部痛は骨転移含まれているとおもうが、コミュニケーションが難しいためVAS評価、FS評価等はずれず。動作時に痛みがあるため、動かないといった悪循環を繰り返している。



【現病歴】

膀胱癌のため、経過観察中であった。

X-2年6月、体腔鏡下左尿管全摘除術にて行った。

しかし、L3転移、L3前方のリンパ節転移が確認された。

SMA（上腸間膜動脈）、Aorta（大動脈）の間での十二指腸狭窄通過障害IVC腫瘍栓S/OAortaの浸潤を認める。

#不眠

X-1年1月、経口摂取困難のため、胃瘻造設、胃管抜去。フェンタニル0.25mg/日→5mg、痛みによる入眠障害は改善傾向

【投薬】レスキュー：フェンタニル2ml/hの早送り

【所見】

点滴1600ml、X-1年1年半ば～絶食中

脈診：数（一息七至）、浮、滑（右）、微弦（左）。

舌診：淡白舌、胖大舌、嫩舌。下腿周径：右32.7cm、左33cm

【東洋医学的弁証】脾胃虚弱

【方法】

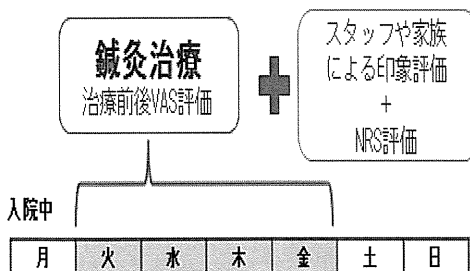


図1. 治療の流れ

入院期間1月～2月までの36日間のうち週4回、計12回治療を行った。治療時間は約10分。体動時に強い痛みが起こるため、出来る限り動かたくないという本人の希望から仰向けの状態で治療を行った。

【使用鍼具】

毫鍼：セイリン社製、直径0.12mm×長さ15mmを2mm程度の刺鍼で行った。

円皮鍼：セイリン社製、直径0.2×長さ0.6mmを使用した

【評価】

痛みスケールは初診時から腕を動かしてのVAS評価はできず、NRS、FSに関しても、傾眠傾向の時があり、反応が鈍く答えることができないため、浮腫は下腿周径（膝蓋骨下縁から下10センチの周径を測る）。また、痛みの評価として医師、医療スタッフのコメントをカルテより抜粋し、痛み評価と印象評価とした。

【経過】

1診—1日目

● カルテ

7時、「痛いのは動かなんだったらないんや」（NRS：3～4）。

疼痛は増強なく経過している。下肢のだるさが辛そう。

16時半、フェンタニル2ml/hにて苦痛表情なし。足の冷感あり、両下肢浮腫を認める。

レスキュー使用回数2回

(3：44、19：50)

1診目

● カルテ

21時、腰部痛出現

22時半「痛みは3～3.5くらい(最大5)」本日の疼痛訴えなし。

レスキュー使用回数0回

● 鍼灸

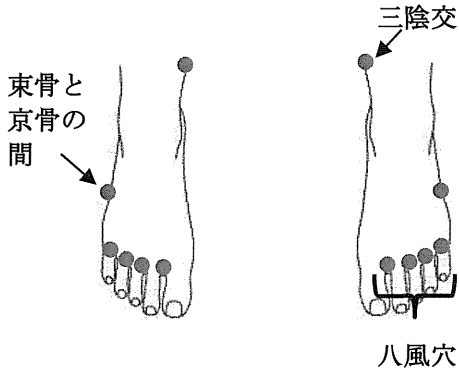
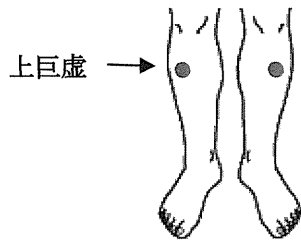
「痛い…こ、腰…」

脈診：数（一息七至）、浮、滑（右）、微弦（左）。

舌診：淡白舌、胖大舌、嫩舌。

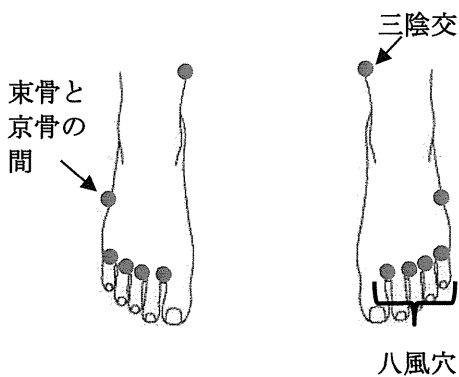
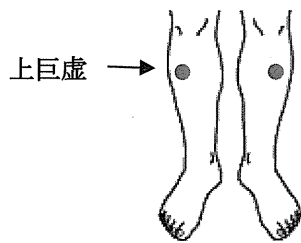
下腿周径：右32.7cm、左33cm

治療部位：〈毫鍼〉八風穴、束骨と京骨の間、三陰交、上巨虚、〈円皮鍼〉左束骨と京骨の間を使用した。



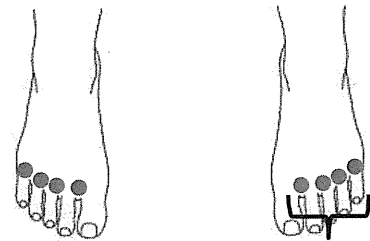
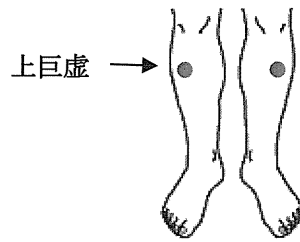
2診目

- カルテ
18時半、吃逆あり。
21時、「冷たい水をおくれ」一時的に吃逆、おさまっている。
レスキュー使用回数3回
- 鍼灸
声掛けで起きるが開始直後すぐに入眠される。
脈診：数（一息六半至）、弦、右浮、左沈。
舌診：淡白舌、胖嫩
治療部位：〈毫鍼〉八風穴、束骨と京骨の間、三陰交、上巨虚、〈円皮鍼〉左束骨と京骨の間を使用した。

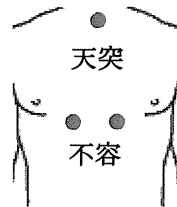


3診目

- カルテ
3時、1時ごろから5秒に1回のペースで吃逆あり。胃瘻開放していたが…。アイスノンで腹部を冷やすと吃逆消失。
19時、「痛みはマシや」
- 鍼灸
吃逆中だが、閉眼し眠られている様子。
左陽明経に熱感あり。
脈診：数（一息六至）、弦、胃の滑
治療部位：〈毫鍼〉八風穴、上巨虚、〈鍡鍼〉左尺沢、不容、天突、〈円皮鍼〉不容を使用した。



八風穴



天突

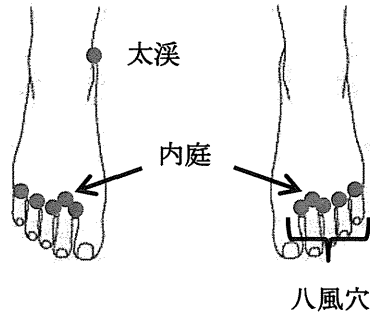
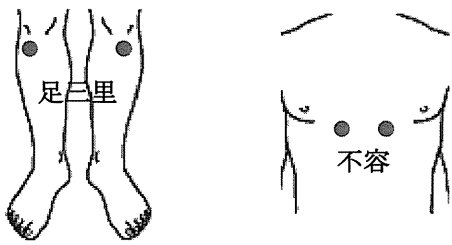
不容



尺沢

4診目

- カルテ
吃逆おさまっている。
レスキュー使用回数2回
- 鍼灸
切診：左右胃経表面緊張
脈診：数（一息六至）、左関上弦
治療部位：〈毫鍼〉八風穴、足三里、不容、太溪、〈円皮鍼〉不容、内庭、右太溪を使用した。



4診+1日目

- カルテ
今朝は吃逆おさまっている？

4診+2日目

- カルテ
2時、不眠の訴えあり。

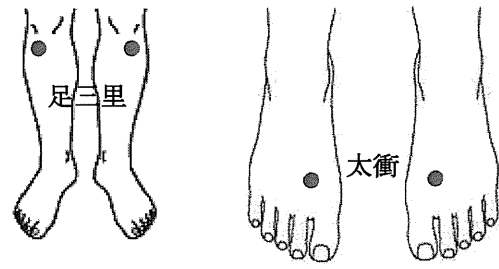
4診+3日目

- カルテ
7時、口渇あり、痛いのは痛い (3.5/5)
アセトアミノフェン200mgに増量。
11時、「今日は調子悪い」(4くらい)
13時、「えらい～えらい～5や、5!!」
昼過ぎから強い痛みを訴える

5診目

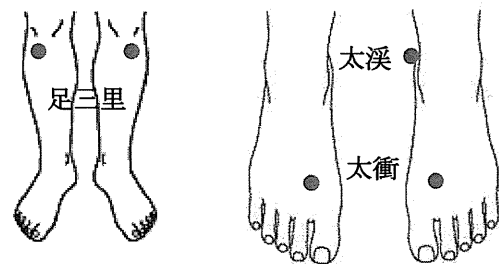
- カルテ
7時、疼痛の増強はない。夜間の疼痛増強あり。明るくなるにつれて落ちつかれている。
19時半、背中NRS : 4.
20時、強い口渇あり。
- 鍼灸
排液570ml程度
脈診：浮、数 (102回/分)、滑、弦。
下腿周径：右33.5cm、左32.0cm

治療部位：足三里、太衝



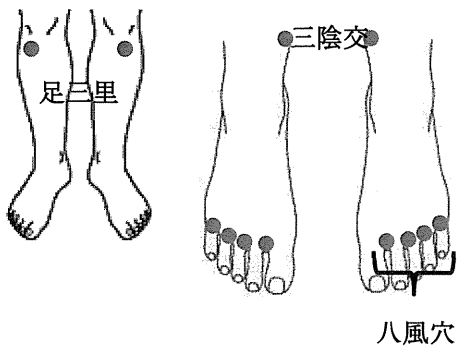
6診目

- カルテ
9時半、アセトアミノフェン200mg→400mgに増量。
11時半、訪室時吃逆なく、入眠中
16時、胃痙から排液あり。排便なし。
18時半、吃逆減るもまた継続している。言動が不明瞭になりつつある。
レスキュー使用回数3回
 - 鍼灸
吃逆止まっている。声掛けしたときに1度のみ。
脈診：滑。
- 治療部位：足三里、太衝、左太溪を使用した。



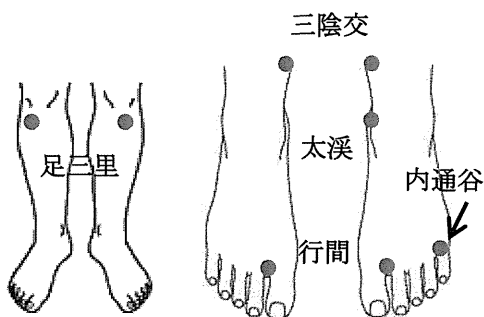
7診目

- カルテ
6時前、尿パッドに多量の失禁あり。
7時「私は午後8時から、午前8時までここが痛いんです」
レスキュー使用回数1回
 - 鍼灸
著変なし。
声掛けに反応なく、閉眼のまま。
下腿周径：右31.6cm、左31.0cm
- 治療部位：八風穴、三陰交、足三里を使用した。



8診目

- カルテ
4時半、「4時ごろになるとチクチク痛むんや」左側腹部～腰部痛。
8時半、「そこらじゅう痛くなってきた。背中どこも一番痛い」
16時、洗髪時に疼痛を訴える。今朝より痛みが増強している。
レスキュー使用回数も増えてきている。
レスキュー使用回数5回
- 鍼灸
「しんどいんですわ～。腰が…腰が…」
吃逆は昨日よりも多い
脈診：散？、滑、数（一息七至）
下腿周径：右30.3cm、左30.5cm
治療部位：左後溪、足三里、左太溪、左内通谷、行間（寫）、三陰交を使用した。



8診+1日目

- カルテ
14時、16時に腰痛を訴える。
レスキュー使用回数2回

8診+2日目

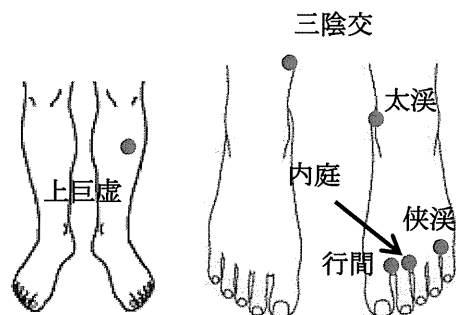
- カルテ
6時、「痛みはない、5かな？今日はマシ」
10時半、自分からはっきりと痛みの程度を訴えられず、日中は傾眠傾向、口内がネチネチしている。
17時、吃逆出たり、消失したりしている。
レスキュー使用回数3回

8診+3日目

- カルテ
16時、2時間おきにパッド内に尿がたっぷりある。下肢浮腫継続している。

9診目

- 鍼灸
吃逆なく睡眠中
脈診：脈拍105回/分
左下腿（陽明経）熱感あり
下腿周径：右28.9cm、左31.8cm
治療部位：〈毫鍼〉左上巨虚、左太溪、左行間、右三陰交、〈鍍鍼〉左内庭、左外内庭、左侠溪を使用した。



10診目

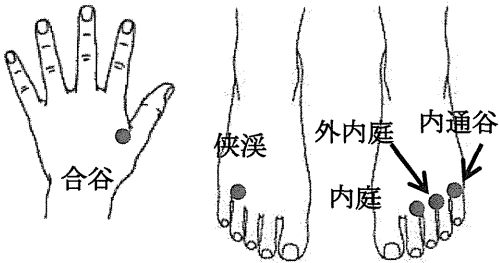
- カルテ
8時半、排尿あり。「痛みはマシ」
- 鍼灸
「手がふるえるんですわ。ずっと前から。左が震えると、右

も震えて・・・両方ふるえる。腰は左と真ん中と右端、じつとしてたら痛くないよ」

脈診：脈拍114回／分、滑。

下腿周径：右29.0cm、左33.5cm

治療部位：〈円皮鍼〉右俠溪、左内庭、左外内庭、左内通谷、左合谷を使用した。



10診+1日目

- カルテ

15時、午前、午後で1回ずつ泥状便あり。

17時、「眠れていません」日中訪室時眠っていることが多い。

- 鍼灸

睡眠中のため、中止

11診目

- カルテ

11時半、「痛みが少しましでしょうか？」

21時ベッドギャギアアップ70度にいけた。

- 鍼灸

声掛けにてうっすらと開眼される。

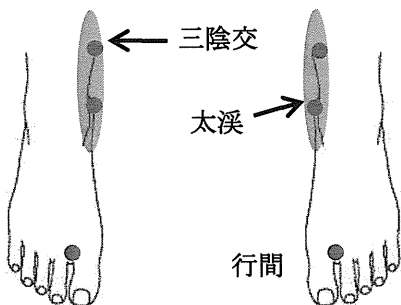
切診：全身熱感

脈診：数（一息七至）、渋。

下腿周径→右28cm、左30.7cm

ひざ下10cmは浮腫軽減が認められるが、足背～足首に集中している印象

治療部位：〈毫鍼〉三陰交、行间、〈鍔鍼〉太溪、腎経を使用した。



12診目

- カルテ

10時半、「しんどい、痛い、身の置き場がない…」

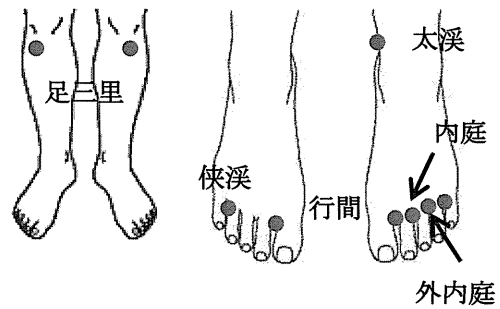
- 鍼灸

著変なし

脈診：数（一息七～八至）、渋

下腿周径：右27.4cm、左32.8cm

治療部位：〈鍔鍼〉左太溪、行间、左内庭、左外内庭、俠溪、足三里を使用した。



13診目

- カルテ

11時半、見当識障害あり。

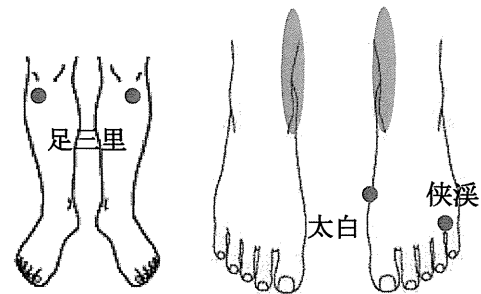
- 鍼灸

著変なし

脈診：数（一息七至）34×3=102回/分、滑。

下腿周径：右26.5cm、左33.7cm

治療部位：〈毫鍼〉足三里、左太白、左俠溪、〈鍔鍼〉腎経、脾経、〈円皮鍼〉左俠溪を使用した。



14診目

- カルテ

11時、口の中が乾く

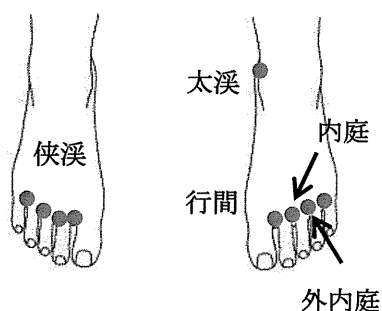
- 鍼灸

著変なし

脈診：浮、数、滑、舌診：淡白、胖大、嫩舌、湿潤。

下腿周径：右27.4cm、左33.4cm

治療部位：〈毫鍼〉左太溪、俠溪、行間（瀉）、内庭、外内庭を使用した。



14 診+1 日目

● カルテ

20 時半、咳止め。鍼灸で疼痛の訴えは軽減している。

【転帰】

鍼灸治療介入全 11 回。

14 診+2 日後に死去。

【まとめ】

傾眠傾向もあり、また中途より見当識障害によりコミュニケーションが十分に取れる状態ではなかったため、数少ない評価法を用いて、評価した。

①浮腫

左側（患側）は一時的に軽減が認められたものの、状態悪化に伴い、悪化している。左：鍼灸介入前 33 cm→最終治療日 33.4cm、右：鍼灸介入前 32.7cm→最終治療日 27.4cm と左右で 6cm 差となった。こ

れは、左側を下に側臥位になっている可能性もあるが、褥瘡予防のため、体位変換は行われているため、鍼灸による改善があったとも考える。

②痛み

腰背部痛はどれほど痛いのかを直接確認することは難しく、痛みがないといっても NRS : 5 と答えるなど信憑性に欠けた。しかし、最終的評価にて、鍼灸治療介入することによって疼痛の訴えが軽減していると医療スタッフからのコメントがカルテより抜粋できた。

総合的に、「眠れない」といった訴えが頻繁にあったが、治療中はすぐに軀をかいて入眠されていたことから、鍼灸治療が心地よいものであったといえ、事実、日中ではあるものの、入眠している姿が多くみられていた。

また、後半になり、痛みを訴えない日もでてきたことから、効果はあったと考える。しかし、今回は不眠の治療はしていない。

本症例から、死前期に近づくにつれ、不定愁訴が多くなる。しかし、全ての愁訴に対して治療を行ってしまうと、刺激量が多くなり、悪化させる可能性がある。

そのため、治療部位の選穴が重要となり、また体動のできない患者に対し、四肢末端の軽微刺激の技術は必要不可欠ではないかと考える。

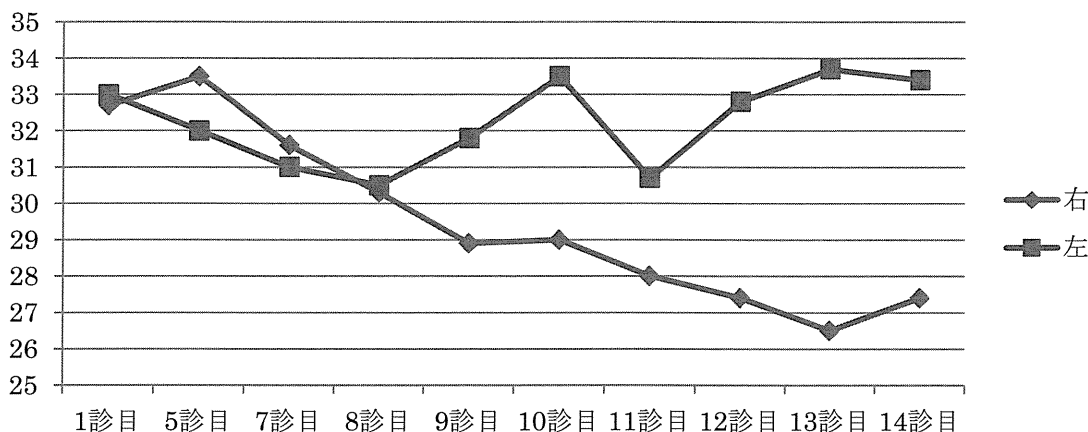


図2. 両下腿浮腫、下腿周径

左下腿は体調の影響もあり、大きく変動することはなかったが、右下腿の周径は治療回数を重ねることにより、効果的に改善している。

【症例】59歳、女性

【傷病名】「葉状腫瘍」

(X-3年1月に腫瘍摘出、X-1年8月に右骨盤転移)

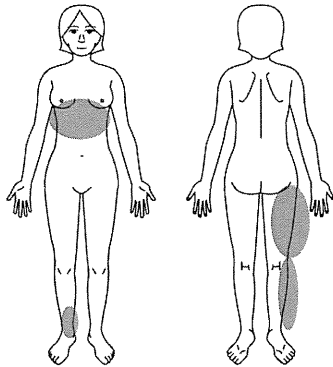
【治療目的】

「腹部膨満感」

放屁、排便をしても常に強い腹部膨満感があり、服薬でも効果不十分であったため鍼治療を医師より依頼された。

「右大腿外側後面痛」

入院前からあったものの、徐々に痛みが強くなった。腹部膨満感が軽減し始めたことにより、気になるようになり追加で治療を依頼された。



【現病歴】

X-3年1月、左乳腺腫瘍摘出術、胆石は経過観察とする。X-1年7月、誘因なく右股関節に痛みを訴える。8月、近医整形外科を受診。骨盤腫瘍を疑い本院に紹介。股関節 ROM FULL、歩行時の痛みあり、圧痛なし、腫瘍触知したため、検査入院となった。生研の結果、C/W 葉状腫瘍転移、分子標的薬にて経過観察とし、後日再検を行った結果、腫瘍巨大化。痛みに対し、ロキソニン・MS コンチン 30 mg×3 を使用。12月、Positron Emission Tomography (PET 検査) を行い、再入院となる。また、12月頭から右坐骨神経領域の痺れ、知覚鈍麻、運動障害(尖足)、EHL(TA) : 0~1 といった症状が出現した。

抗がん剤治療のため、入院。

【所見】

リニアック時間のため脈・舌所見とれず。

胸脇苦満、下肢に強い浮腫あり。両胃脘を圧すると気持ちいいとのこと。下腿の冷えあり。太溪軟弱、脾経軟弱、行間圧痛

【東洋医学的弁証】 肝胃不和・脾腎陽虚

【方法】

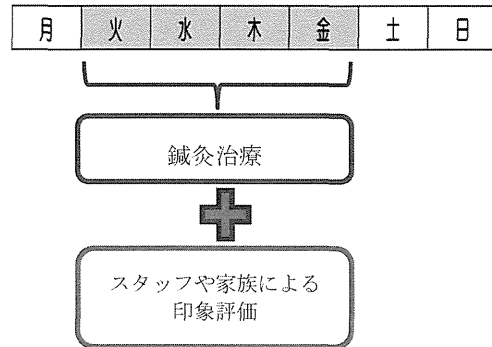


図1. 治療の流れ

鍼灸治療は火曜～金曜までの週4日間。患者負担を考え、治療時間は10分程度。患者に不安感があった場合、5分ほど話をする時間を確保した。

【使用鍼具】

毫鍼：セイリン社製、直径0.12mm×長さ15mmを2mm程度の刺鍼で行った。

円皮鍼：セイリン社製、直径0.2mm×長さ0.6mmを使用した。

e-Q（電子温灸器）：45±2℃、5秒設定にて使用した。

【評価】

VAS 評価は治療前後にて行った。ただし、化学療法などで倦怠感が強く、患者負担がかかる場合は医療スタッフのカルテ記載から抜粋した。全体的な印象評価として患者コメント、医療スタッフのコメントをカルテから抜粋し、評価とした。

【経過】

1診-2日目

● カルテ

抗がん剤（イホマイド）治療および放射線療法1クール目開始。

16時半、右骨盤の痛みは少なくなってきた。

レスキュー使用回数2回

1診-1日目

● カルテ

胃付近に圧迫感があり。呼吸困難あり。

昼食1/4とイチゴ3個のみ。

1診目

- カルテ

排ガスがあるも膨満感あり。痛みが軽減しており、放射線療法が効果あったのか。

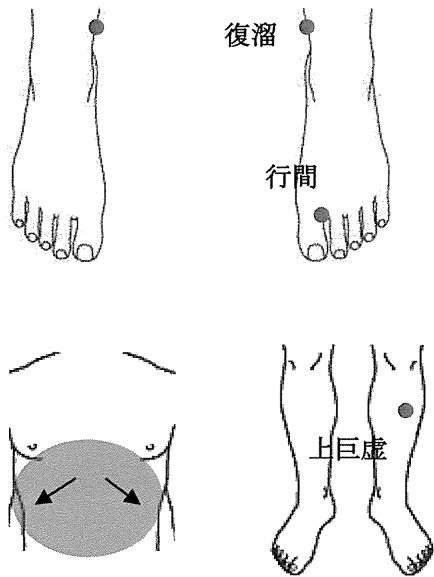
23時便失禁あり。

- 鍼灸

リニアック時間のため脈・舌とれず。

便通：ガス・便ともに出ているが、腹部膨満感が強く、常に張った感じがある。腹部膨満感VAS：13mm（便だした後の為）

治療部位：〈毫鍼〉左上巨虚、復溜、左行间、〈鍳鍼〉腹部小児鍼、〈円皮鍼〉左行间を使用した。



2診目

- カルテ

本日からオキシコンチン80mgに減量、オキノーム（レスキュー）10mgに減量。19時頃レスキュー使用するも痛み軽減見られず。

- 鍼灸

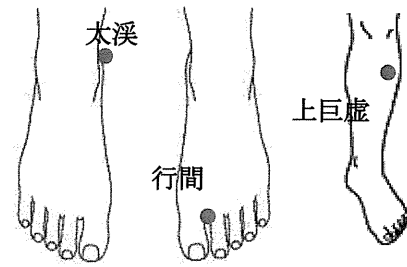
「あの後、夜中に便もおしっこも出ました。その時はしんどかったんですけど、出し切ったらお腹ペタンコですし、張った感じはないです」

脈診：肝弦、腎無力。

舌診：淡紅舌、舌下静脈怒張。

腹部膨満感VAS：19mm

治療部位：〈毫鍼〉左行间、左上巨虚、右太溪、〈円皮鍼〉左行间を使用した。



3診目

- カルテ

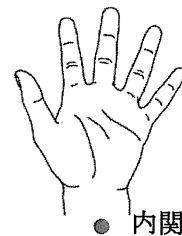
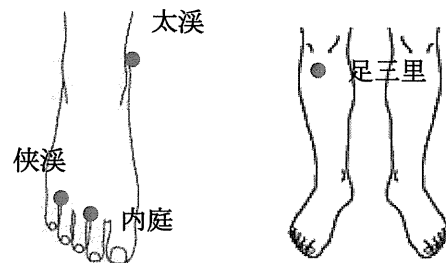
本日の午前で化学療法クール終了。11時足の痛みを訴えるが薬を飲むほどではない。

- 鍼灸

倦怠感が強く、しんどい

脈診：細、数、滑。下腿熱感強い。強刺激にならないよう、円皮鍼のみで行った。

治療部位：〈円皮鍼〉左内関、左足三里、右太溪、右内庭、右侠溪を使用した。



4診目

- カルテ

両下腿浮腫軽減、腹部膨満感軽減。20時「口の中にでき物ができる」下口唇の裏に二つ、白色粒状のものあり。

- 鍼灸

「あのあと楽だったんです。先生を待っていたんですよ。鍼があつたかい感じがして、気持ちいい。便もガスも出ます」

脈診：右浮・滑、一息六至。

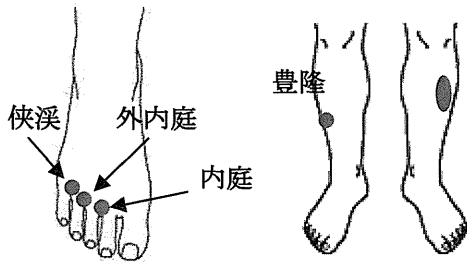
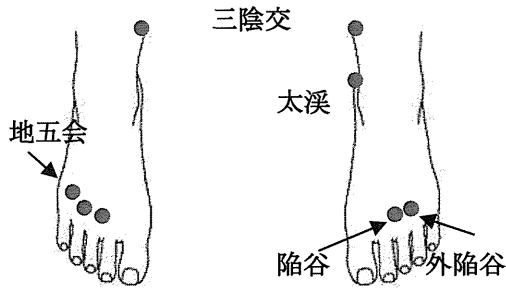
舌診：淡紅舌、無苔、胖嫩舌、舌下静脈怒張。

排便：本日0回。

腹部膨満感VAS：65mm→治療後48mm

右下肢外側の痛み：52mm→治療後37mm

治療部位：〈毫鍼〉三陰交、左太溪、右豊隆、左陥谷、左外陥谷、（単刺）右陥谷、右外陥谷、右地五会、左上巨虚～下巨虚、〈円皮鍼〉右内庭、右外内庭、右侠溪を使用した。

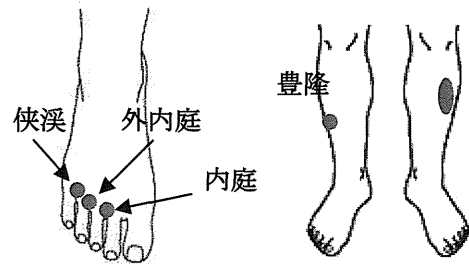
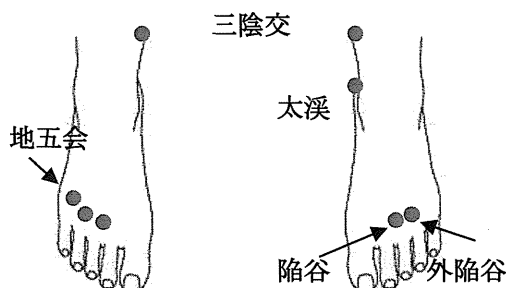


5診目

- カルテ
「痛いのは、朝痛いんですけど、鍼灸がまたいいんです。おすすめですよ」
レスキュー使用回数全3回
- 鍼灸
「鍼をすると、足がスツとするんです」

腹部膨満感VAS：43mm

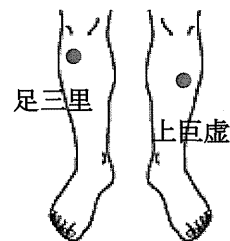
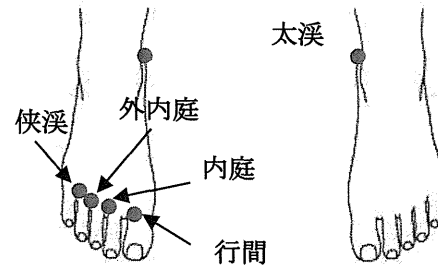
治療部位：〈毫鍼〉三陰交、左太溪、右豊隆、左陥谷、左外陥谷、（単刺）右陥谷、右外陥谷、右地五会、左上巨虚～下巨虚、〈円皮鍼〉右内庭、右外内庭、右侠溪を使用した。



6診目

- カルテ
「鍼灸してもらってからですかね。凄く楽で。今日は朝痛みませんでした」
レスキュー使用回数全5回
- 鍼灸
腹部膨満感VAS：34mm→治療後32mm
右下肢外側痛VAS：47mm→治療後34mm

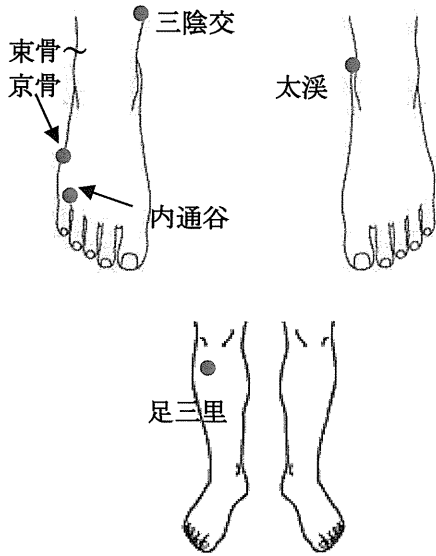
治療部位：右足三里、左上巨虚、太溪、右行間、〈円皮鍼〉右侠溪、右内庭、右外内庭を使用した。



7診目

- カルテ
食欲が出てくる。朝、夕持込食、昼食7割摂取可能となる。
レスキュー使用回数全4回
- 鍼灸
「この時間帯から痛みが強くなるので、これくらいですね」
脈診：弦、数（一息六至）
右大腿後面痛VAS：57mm→治療後32mm
腹部膨満感VAS：16mm→治療後15mm

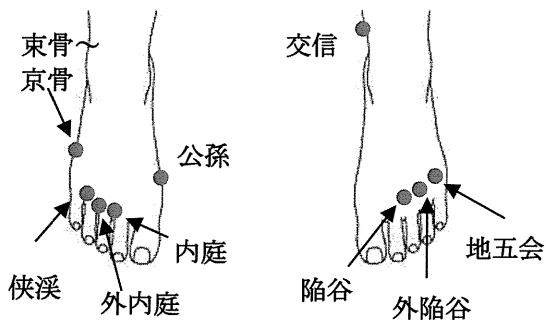
治療部位：〈毫鍼〉右足三里、左太溪、右三陰交、右束骨と京骨の間、右内通谷、〈円皮鍼〉右束骨と京骨の間、右内通谷



8診目

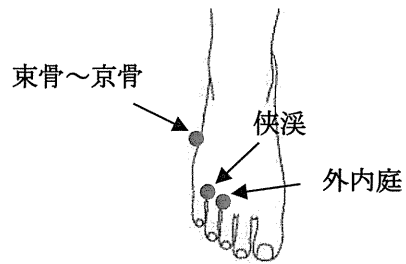
- カルテ
左下肢の運動機能に変化なし。下肢浮腫が改善した分、動きやすそう。
レスキュー使用回数全4回
- 鍼灸
「足が以前よりも軽い感じがします」
脈診：脾やや滑、肝弦。
舌診：淡紅舌、薄白苔。
右足太陽経、足太陰経に強い圧痛あり。
右大腿後面痛VAS：45mm→治療後40mm
腹部膨満感VAS：48mm→治療後35mm

治療部位：右内庭、右外内庭、右侠溪、右束骨と京骨の間、右公孫、左交信、〈鍔鍼〉胃経、脾経、〈円皮鍼〉左陷谷、左外陷谷、左地五会を使用した。



9診目

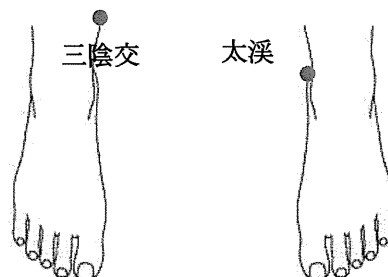
- カルテ
レスキュー使用回数全4回
- 鍼灸
鍼してもらったり、圧してもらったりすると足の裏がポカポカして、気持ちいいです。
脈診：滑、虚、沈、舌診：淡紅、肿大、嫩舌、舌下静脈怒張
便通：3回
右大腿外側部痛VAS：38mm→治療後30mm
腹部膨満感VAS：30mm→治療後23mm
治療部位：〈円皮鍼〉右束骨・京骨の間、右侠溪、右外内庭を使用した。
※リニアック直前だったため、円皮鍼のみ

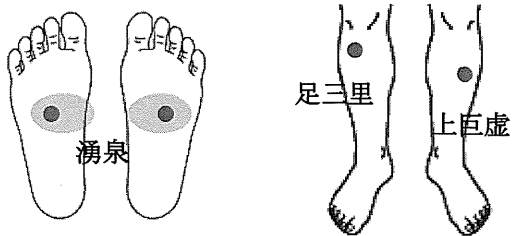


10診目

- カルテ
「今日は痛いですね」
レスキュー使用回数全5回
- 鍼灸
昨夜、熱発しましたが、今日は安定しています。今日は右足の浮腫みがきつい感じがします。
脈診：肝微弦、細、数（一息七至）。
舌診：紅舌、肿大、舌下静脈怒張。
右大腿外側部痛VAS：30mm→治療後23mm
腹部膨満感VAS：24mm→治療後11mm
施術中、排ガスあり。

治療部位：〈毫鍼〉右足三里、左上巨虚、左太溪、右三陰交、湧泉〜公孫を使用した





11診目

- カルテ

18時に普通便多量

レスキュー使用回数全6回

- 鍼灸

「昨日より、痛みはありません」

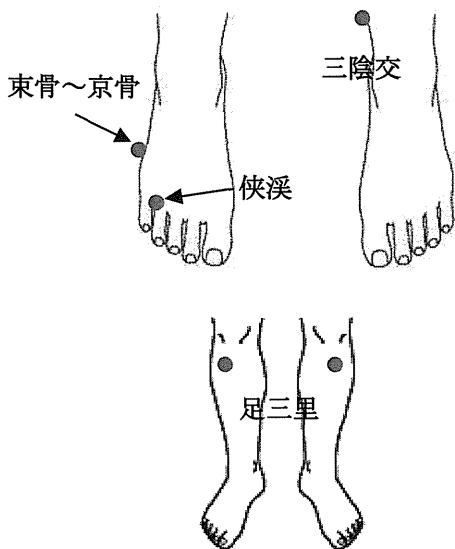
脈診：滑。

舌診：淡紅、胖大、舌下静脈怒張。

右大腿外側部痛VAS：26mm→治療後×

腹部膨満感VAS：18mm→治療後×

治療部位：＜毫鍼＞足三里、右束骨・京骨の間、右侠溪、左三陰交を使用した。



12診目

- カルテ

「胃の張りはなくなりました」

自己排便あり。レスキュー使用回数全4回

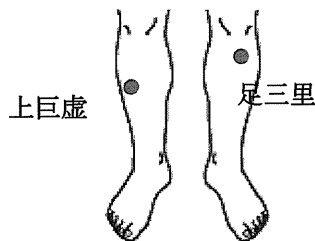
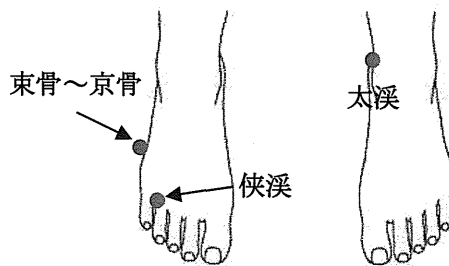
- 鍼灸

土曜、日曜はちょっと調子悪いみたいです。

右大腿外側部痛VAS：57mm→治療後27mm

腹部膨満感VAS：35mm→治療後15mm

治療部位：右上巨虚、左足三里、左太溪、右束骨・京骨の間、右侠溪を使用した。



13診目

- カルテ

9時、「調子いいです。食事入ります」

13時、「朝5時半には起きてます。動いた時に少し痛みます」

(NRS：5)

レスキュー使用回数全2回

- 鍼灸

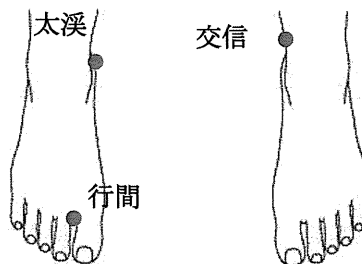
「痛みは落ち着いています。今日はバレンタインでしょ？なんか甘い物とか急に食べたくなりますよね。今も食べています。夜はぐっすり眠っています。だからお腹すくっていうか…あ、先生、それは何のツボですか？イタ気持ちいいというか。（考え事、心配事、悩み事で痛くなりますよ）考え事…していますね。来週のケモとか家のこととか色々心配で」

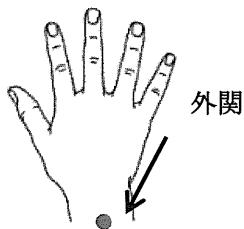
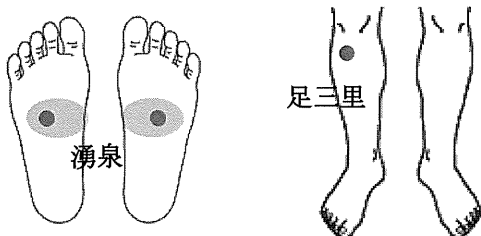
脈診：虚、数、腎無力、脾微弦

右大腿外側部痛VAS：33mm→治療後20mm

腹部膨満感VAS：17mm→治療後13mm

治療部位：＜毫鍼＞右外関、右足三里、右太溪、左交信、右行間、＜鍹鍼＞湧泉を使用した。





14診目

● カルテ

「痛みの間隔が長くなったみたい。食事は入ります。体もしんどくないです」

レスキュー使用回数全4回

● 鍼灸

「来週から抗がん剤治療が始まるけれども、鍼灸治療受けていいの不安。(何が不安ですか?) 前回、わけわからない状態になって、変なこと言ったりしたらどうしようとか…。

評価ちゃんとできるかも不安…」

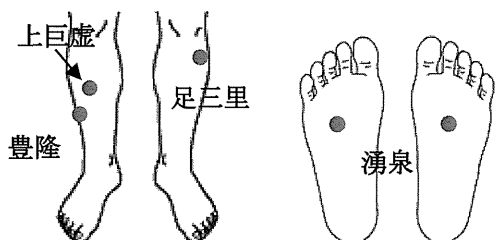
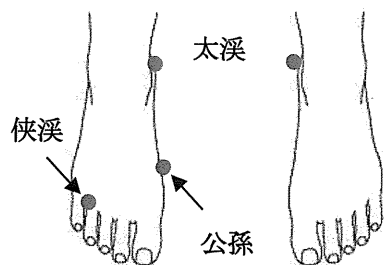
脈診：一息六至、滑

舌診：淡紅、薄白苔

右大腿外側部痛VAS：40mm→治療後25mm

腹部膨満感VAS：16mm→治療後20mm

治療部位：〈毫鍼〉左足三里、右豊隆、右上巨虚、右侠溪、太溪、〈鍔鍼〉右公孫、湧泉を使用した。



15診目

● カルテ

昨日：抗がん剤（イホマイド）治療および放射線療法2クール目開始。左下肢の神経症状回復。「吐き気はないです。ただ眠いだけです」

レスキュー使用回数全3回

● 鍼灸

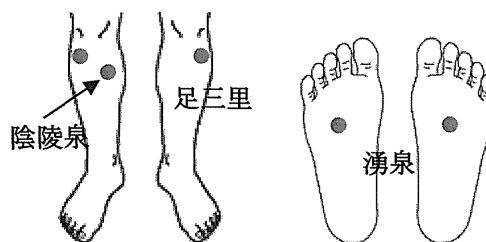
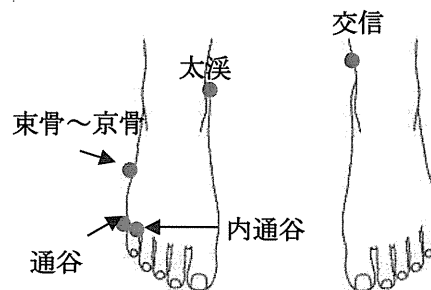
「毛が抜け始めました」

脈診：滑、一息六至。

舌診：淡紅舌、薄白苔。

便通：一昨日2回、昨日なし、本日もなし。

治療部位：〈毫鍼〉足三里、右太溪、左交信、右陰陵泉、右通谷、〈円皮鍼〉右東骨・京骨の間、右内通谷、右太溪を使用した。



16診目

● カルテ

「しんどくなってきました」抗がん剤による食欲低下、倦怠感出るも治療は継続する。

19時、呼吸困難あり。

レスキュー使用回数全3回

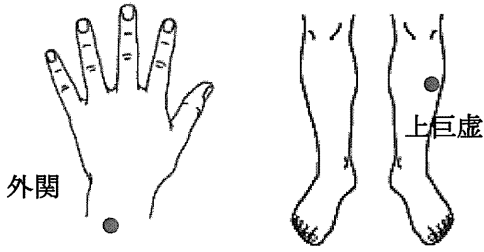
● 鍼灸

抗がん剤治療により、倦怠感増悪。

脈診：数（一息六至）。

滑、舌診：淡紅舌、肿大、湿潤

治療部位：〈円皮鍼〉左上巨虚、左外関を使用した。



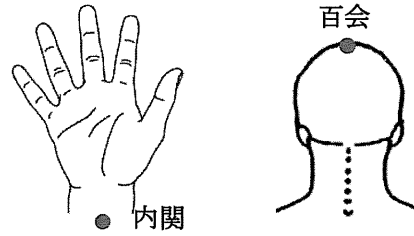
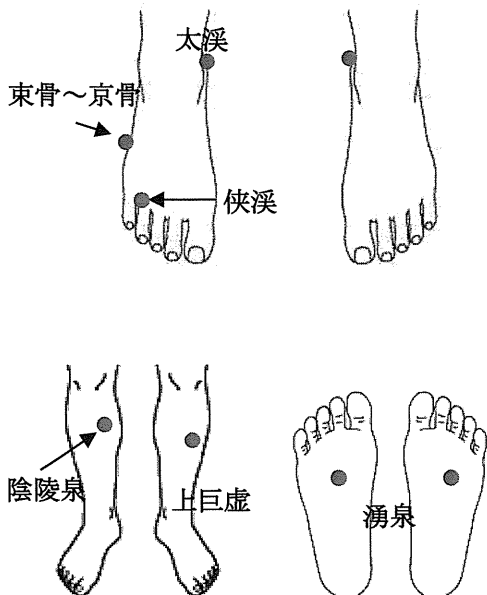
17診目

- カルテ
1:40にレスキュー使用するも痛み軽減せず。
レスキュー使用回数全7回
- 鍼灸
「0時からしんどくて眠れなかった。今日、昼に浣腸して、排便しました」
医療スタッフより「便秘がひどく、浣腸をしました。なんとかありませんか？」と口頭で排便治療を依頼。
脈診：右内関緊張、太溪軟弱、脾経軟弱、声は弱々しく力がない。

※VAS取れるような状態ではなかった。

治療部位：〈鍬鍼〉太溪、右陰陵泉、右侠溪、右束骨・京骨の間、右内関、百会、左上巨虚、湧泉（膀胱経寄りに索状硬結を認める）を使用した。

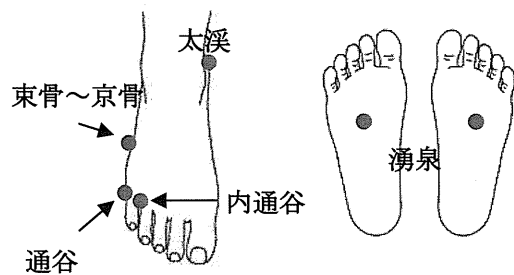
※治療中：「気持ちいい、じんわり温かい感じしてポ〜ッとします」とコメントあり。



18診目

- カルテ
10時自己排便（水様便）。
レスキュー使用回数全7回
- 鍼灸
「今朝、大量の水様便がでました。あその後スッキリしました。なんでそうなったのか心配だったんですけど、鍼の効果ですか？→昨日、たしかに便秘のツボ使ったのでそれもあるかもしれません」痛みの部位が外側からやや後面に移動。
脈診：細、数（一息六至）、滑
右大腿外側部痛VAS：65mm→治療後43mm
腹部膨満感VAS：5mm→治療後3mm

治療部位：〈鍬鍼〉右束骨・京骨の間、右通谷、右内通谷、右湧泉、〈円皮鍼〉右内通谷、右太溪を使用した。



19診目

- カルテ
昨日：イホマイドおよび放射線療法2クール目終了。
11時「食べてみようという気分になった」
レスキュー使用回数全6回
- 鍼灸
「金曜日～日曜日まで硬めですけど、便は出ました。月曜日

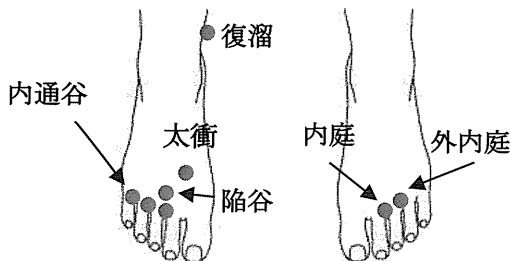
は0回。火曜日はコロコロした便が出ました」

脈診：弦、数（一息六至）。

舌診：淡紅、嫩舌、舌下静脈怒張、

切診：腎経の緊張あり

治療部位：〈毫鍼〉右内通谷、右太衝、右陷谷、左内庭、左外内庭、右復溜、〈鍔鍼〉内庭、外内庭を使用した。



20診目

- カルテ

2時「急に痛くなって、寝返りも打てない」

レスキュー使用回数全4回

- 鍼灸

「昨夜眠れず、家族の事、病気の事、色々考える（心配ですか？）そう。（何が心配なのですか？）・・・」

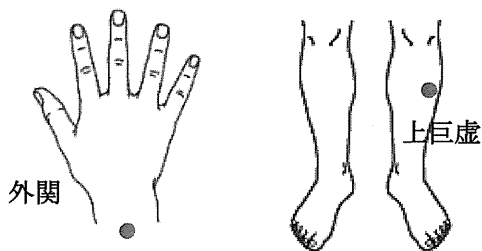
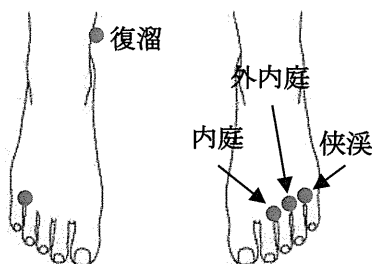
脈診：腎弦。

舌診：淡紅舌、舌下静脈怒張。

右大腿後面痛VAS：52mm→治療後43mm

腹部膨満感VAS：50mm→治療後37mm

治療部位：〈毫鍼〉左内庭、左外内庭、俠溪、右太溪、右外関、右復溜、左上巨虚、左内関、〈円皮鍼〉左内庭、左外内庭、左俠溪、右太溪、右外関を使用した。



21診目

- カルテ

「しんどくなくなりました。むしろ元気になった気がします」

レスキュー使用回数全3回

- 鍼灸

「今日はムカつきがあります。食べたいと思って、起き上がると食べたくなくなって…。脂っこい物を見るだけでもウツってなります。右足が浮いてくる感じがするんです。軽くなってきたからかしら？」

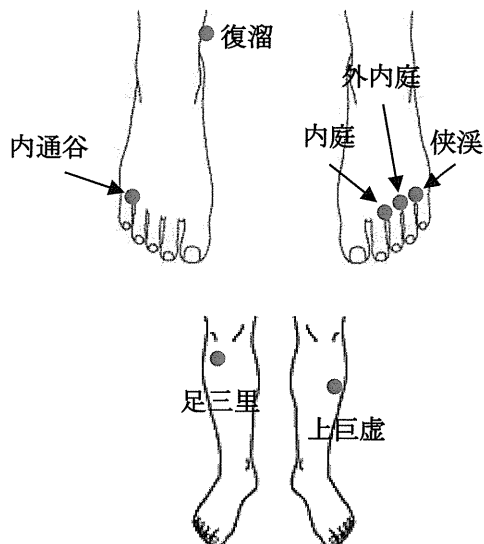
脈診：滑、数（一息六至）

食欲：気持ちだけは食べようと思える。

右大腿後面痛VAS：54mm→治療後40mm（足があげやすい）

腹部膨満感VAS：36mm→治療後27mm

治療部位：〈毫鍼〉右足三里、左上巨虚、右内通谷、左内庭、左外内庭、左俠溪、〈円皮鍼〉右内通谷、右太溪を使用した。



22診目

● カルテ

「同じ感じですが。だけど今日は調子がいいの」

レスキュー使用回数全4回

● 鍼灸

「今日はまだ便出てません。治療してもらってから唾液がサラサラしていたんですけど、お昼頃から話していると唾液がサワー状にアワアワしてるんです」

脈診：浮、胃滑、腎無力。

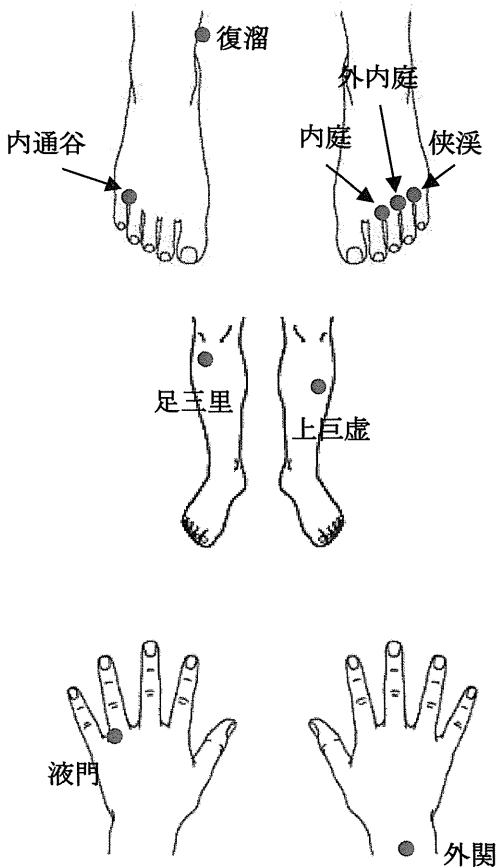
舌診：淡紅、舌下静脈怒張

睡眠：21：00～4：00、痛み止めのんで5：30まで眠れた

右大腿後面痛VAS：34mm→治療後37mm（変化なし）

腹部膨満感VAS：47mm→治療後32mm

治療部位：〈毫鍼〉左内庭、左外内庭、左俠溪、右内通谷、右復溜、右足三里、左上巨虚、〈円皮鍼〉左液門、右外関を使用した。



23診目

● カルテ

13時、「今は大丈夫です」(NRS：5～6)

15時半、血圧低めで経過するも、本人は特に自覚ない。

レスキュー使用回数全2回

● 鍼灸

昨夜は急に熱が出て、眠れなかったが、普段は眠れています。日曜日あたりから口が渇く。診察など緊張すると…特に酷いですね。水分足りないのでしょうか？唾液はサラサラして以前のように戻ってきました。

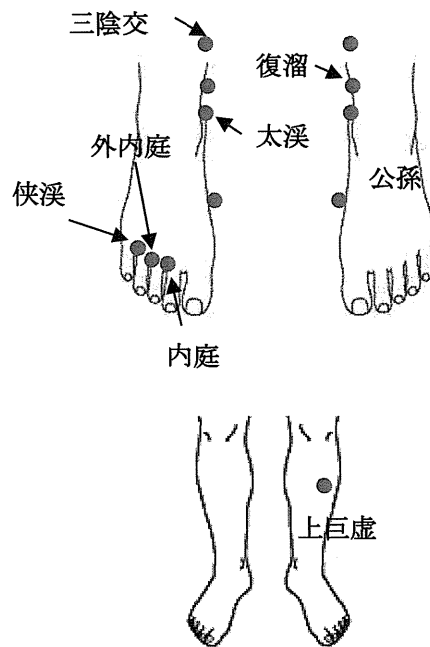
切診：右腎経上圧痛

脈診：肝・脾・腎微弦、舌診：淡紅、薄白苔、便通：-3日

右大腿後面痛VAS：32mm→治療後20mm

腹部膨満感VAS：26mm→治療後10mm

治療部位：〈毫鍼〉復溜、左上巨虚、〈鍔鍼〉右内庭、右外内庭、右俠溪、〈e-Q〉太溪、三陰交、公孫を使用した。



24診目

● カルテ

9時、「気分いいです。よく眠れます。痛みも以前より軽い感じですよ」

16時、39.9kg、先週より2kg増し

レスキュー使用回数全1回

● 鍼灸

「錠剤飲めるようになりました。鍼した日の夜はよく眠れます」

脈診：滑、細、数(一息六至)

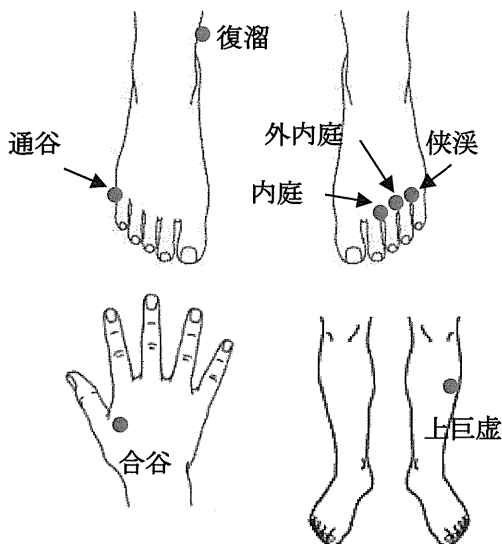
舌診：淡紅舌、薄白苔、舌下静脈怒張。

食欲：良好。便通：-4日。

右大腿後面痛 VAS：21mm→治療後 17mm

腹部膨満感 VAS：30mm→治療後 24mm

治療部位：〈毫鍼〉左上巨虚、右通谷、右復溜、左内庭、左外内庭、左狭溪、〈鍳鍼〉太溪、〈円皮鍼〉右合谷、左上巨虚を使用した。



25 診目

- カルテ

15 時、浣腸。茶碗一杯。

レスキュー使用回数全 3 回

- 鍼灸

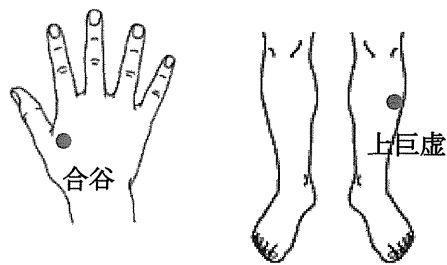
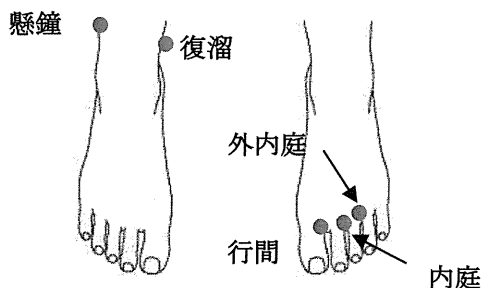
「今日、浣腸してもらいました」

脈診：滑、細、沈、数。

右大腿後面痛 VAS：24mm→治療後 15mm

腹部膨満感 VAS：21mm→治療後 10mm

治療部位：左上巨虚、右復溜、右懸鐘、左内庭、左外内庭、〈円皮鍼〉行间を使用した。



26 診目

- カルテ

7 時、「眠たいです。あ、痛いかどうか言われたら痛いですね」

11 時、先月の CT と比較し、腫瘍に変化はなし。本人に説明する。

14 時、「便できました」こぶし 1 個分。

レスキュー使用回数全 2 回

- 鍼灸

「午前中に CT の結果を聞きました。変わっていないと言われ、落ち込みました。落ち込んで、なんか急に甘いもの食べたいなあって思ってケーキ食べました」

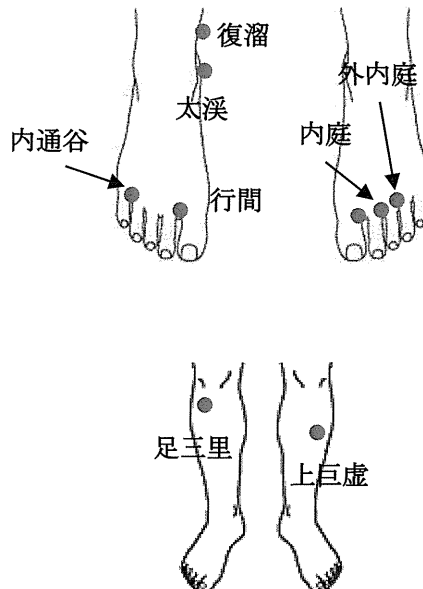
脈診：滑、細、沈、数。

舌診：淡紅舌、薄白苔、舌下静脈怒張。

右大腿後面痛 VAS：34mm→治療後 24mm

腹部膨満感 VAS：30mm→治療後 30mm

治療部位：〈毫鍼〉右足三里、左上巨虚、右復溜、左内庭、左外内庭、行间、右内通谷、〈円皮鍼〉右太溪、左上巨虚、右内関、右内通谷を使用した。



26 診+3 日目

● カルテ

8 時半、「体は楽です。食事はいりました。化学療法効いていないなら家に帰りたい」

22 時、「お腹張ってます。便 2 日出てません」

27 診目

● カルテ

5 時半、「結構眠れました。起きたら、痛くなってきました」

9 時、食事はいるようになってきた。右足背浮腫あり。

15 時、右下肺野に入院時にはないが 2 か所転移あり。この 1 カ月で増大なし(1 つ 16mm 程度)

レスキュー使用回数全 4 回

● 鍼灸

「いつもと同じです」

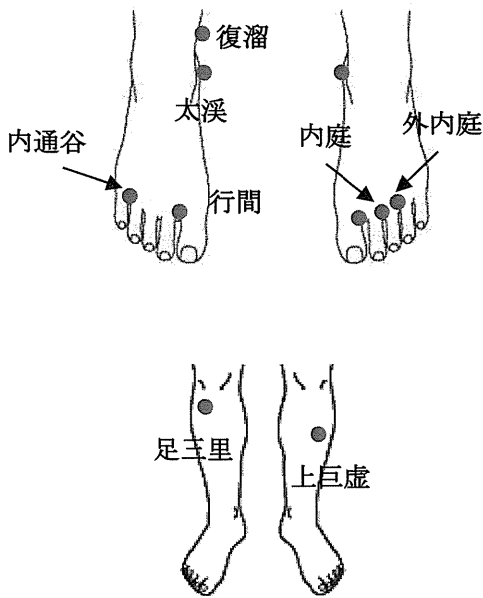
脈診：渋、数（一息六至）。

舌診：淡紅舌、薄白苔。

睡眠：寝付きが悪い。

便通：2 日間出ていなかったが、本日排便あり。

治療部位：〈毫鍼〉右足三里、右復溜、行間、左上巨虚、〈鍔鍼〉右内通谷、〈円皮鍼〉太溪を使用した。



28 診目

● カルテ

レスキュー使用回数全 4 回

● 鍼灸

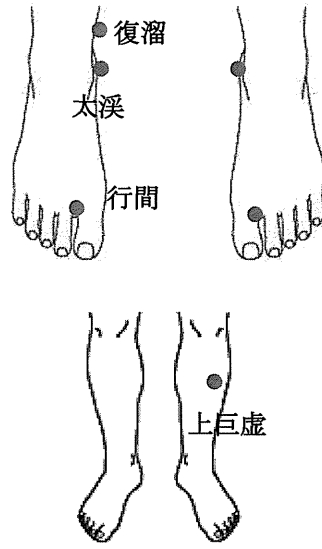
「いつもと一緒にですね。調子はいいです。痛みはこの時間あたりから痛みが強くなってるので、これくらいです」

脈診：腎弦、細、数。

右大腿後面痛 VAS：34mm→治療後 19mm

腹部膨満感 VAS：15mm→治療後 13mm

治療部位：〈毫鍼〉右復溜、行間、左上巨虚、〈円皮鍼〉太溪を使用した。



29 診目

● カルテ

6 時、排便少量あり。

8 時、「体は楽です。食事はいります。通じありました。痛みはさほどありません」

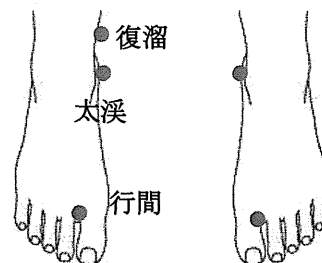
レスキュー使用回数全 4 回

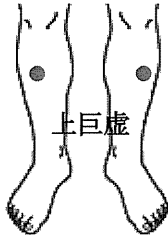
● 鍼灸

「昨日ご飯食べました。お父さんが買ってきた大きなお弁当を半分にして、全部食べましたよ。食べすぎるくらい」

脈診：腎微弦。

治療部位：〈毫鍼〉上巨虚、右復溜、行間、〈円皮鍼〉太溪を使用した。





30 診目

● カルテ

10 時半、最高血圧 80 台だが自覚なし。

レスキュー使用回数全 2.5 回

● 鍼灸

「昨日の夜、怖い夢なのかな？多分怖い夢なんでしょうけど、一回起きました。すぐ眠れましたよ」

便通：0 回

右大腿後面痛 VAS：25mm→治療後 15mm

腹部膨満感 VAS：20mm→治療後 15mm

治療部位：〈毫鍼〉右内関、右復溜、左上巨虚、行间、左陷谷、左外陷谷、左地五会、〈円皮鍼〉太溪、右内通谷、右内関を使用した。

30 診+2 日目

● カルテ

14 時半、「足も上がるし、だいぶ楽になってきたんですよ」右下肢挙上できている。痛み NRS：5 程度。

レスキュー使用回数全 3 回

30 診+3 日目

● カルテ

8 時半、「特にえらくないです。食事はいります」Hb6.3、Ht21.1、TP1.9 のため、輸血を行う。

20 時、泥状便多量、失禁もあり

レスキュー使用回数全 2 回

31 診目

● カルテ

8 時半、「えらくないです。食事はいります。痛みもマシ。右足動かしても痛まない」

11 時、動作時で痛み NRS：5 程度。

レスキュー使用回数全 3 回

● 鍼灸

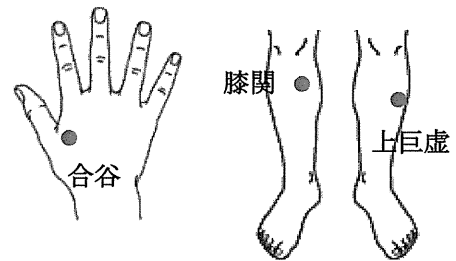
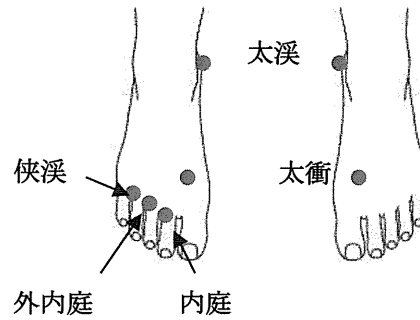
「今朝、大量に便がでました。でも、ちょっと張ってるのかな」（「こんなに（腹部膨満感が）無くなるものなんですね」）

脈診：脾微弦、腎無力

右大腿後面痛 VAS：32mm→治療後 20mm

腹部膨満感 VAS：38mm→治療後 13mm

治療部位：右外関、左上巨虚、太衝、右内庭、右外内庭、右侠溪、右太溪、〈円皮鍼〉右膝関、左太溪を使用した。



32 診目

● カルテ

11 時、「息子来るまで散歩してます」車いすにて散歩に。

レスキュー使用回数全 3 回

● 鍼灸

「今日、ケーキ食べたくまりましたね」

治療部位：上巨虚、太衝、右内庭、右外内庭、右侠溪、右太溪、〈円皮鍼〉左太溪を使用した。

